



本の福袋

日にち：1月15日（木）中間休み～ 場所：図書室

※中間休みと昼休みに行います。

図書室の机に、「友達」や「魔法」などのテーマが書かれた福袋を並べます。福袋には、本が2冊ずつ入っていますが、どんな本が入っているかは、お楽しみ！今まで自分では選ばなかった本との新しい出会いがあるかもしれません。

そして、福袋の中に本についてのアンケートが入っています。アンケートに答えてくれた人は、おみくじを引くことができますよ。図書室で運試ししてみませんか？ぜひ、図書室まで福袋を見にきてくださいね。

【お約束】

- ・読書かばんと、借りていた本と、貸出カードを忘れずに持ってきてください。
- ・図書室までは歩いて来てください。
- ・福袋は1人1つずつ選びましょう。福袋は、1・2年生用、3・4年生用、5・6年生用を用意しているので、自分の学年のところから選んでください。
- ・どの福袋にするか決まったら、カウンターで貸出をしてください。
- ・福袋を開けるのは教室にもどってからです。図書室では開けないでください。
- ・福袋の本は読み終わったら、図書室に返しに来てください。
(新聞紙の袋は返さなくても良いです)
- ・福袋の中に、アンケートが入っています。書いてくれた人は図書室に持ってきてください。持ってきてくれた人は、おみくじを引くことができます。

※1月15日の分の福袋が無くなったら、次の日以降にも、新しい福袋を出しますよ。



八幡市立八幡小学校 図書室

本のおたより

(4年生～6年生用)



令和7年12月9日冬号

冬休みに読んでみて！

今回の本のおたよりでは、冬休みにおすすめしたい本をしょうかいしたいと思います。冬休みに新しい知識を得られる本や、寒い冬に心がほっこりと温まる物語を読んでみませんか？ご家庭でも、久しぶりにお子さんに本を読んであげたり、いっしょに読書をしたりしてすごす時間をつくってみるのはいかがでしょうか？

また、3学期初めには、本の福袋を用意しています。楽しみに待っていてくださいね。

工業『空飛ぶクルマ大研究』 少し先の未来を想像してみましょう



大阪・関西万博に行った時に、空飛ぶクルマを見た人も多いのではないのでしょうか？

この本には、どんな種類の空飛ぶクルマがあるのかや、空を飛ぶ仕組み、特ちょう、開発の歴史、実際に日本で開発が進められている空飛ぶクルマなどがしょうかいされています。

現在、観光地で上空からの景色をながめるためや、医療施設が不足している地域での救急医療・災害救助をするため、り島や人口の少ない過そ地を移動するためなど、様々な目的で使えるように、開発が進められています。

近い未来、日常的に空飛ぶクルマを利用できるようになるかもしれませんね。

物語『トクベツキューカ、はじめました!』

しみずはるき/作 いつか/絵 いわさきしよてん 岩崎書店

1年に1日の特別な日



1年で1日だけ、好きな日に休んでもいいという校則がある小学校がありました。その1日は、何をするのも自由で、だれにも休む理由を言う必要もありません。好きな日に、好きな理由で、学校を休むことができるのです。

その小学校の子ども達は、家族旅行に行くためや、友達と自転車旅に行くため、寒いのが苦手な雪の降る日に休むなど、様々な理由で、トクベツキューカを使います。もし、みなさんにも、1年に1日トクベツキューカがあるとしたら、どんな理由で、

どんなことをして休みますか?想像してみると楽しいかもしれませんね。

さて、このトクベツキューカは、一体何のために決められた校則なのでしょう?実は、ちゃんと意味があるのですよ。

物語『いみちえん!!廻』(シリーズ全3巻)

あさばみゆき/作 市井あさ/絵 KADOKAWA

漢字を書き換え意味をチェンジ!

中学1年生の書道と漢字が好きな藤原りんねは、人とはちがう能力を持っています。だれかがウソをついたり、人の悪口を言ったりするたびに、口から黒いケムリがふき出てくるのが見えるのです。そして、その黒いケムリが増えすぎると、「マガツ鬼」という邪気をまとう悪いものが、ケムリを食べにやってきます。「マガツ鬼」は、言葉ののろいで人間をおびやかすのです。

そして、その「マガツ鬼」を「言祝ぎ」のチカラで退治するのが、ミコトバツカイのりんねの役目です。ミコトバツカイは、筆を武器に、言葉の術で、「マガツ鬼」を消し去ることができます。例えば、「蜂」がおそってきたら、「虫」だけ残して、右側に「葉」を書き入れると、「蝶」に変身するというように、漢字のパーツの一部を変えたり、足したりして、別の意味の漢字にすることで、「マガツ鬼」をたおすのです。

漢字が好きな人にもおすすめのシリーズです。



物語『野生のロボット』(シリーズ全3巻)



ピーター・ブラウン/作・絵 まえざわあさえ/やく 福音館書店

愛情を知ったロボット

今年の2月に「野生の島のロズ」として上映された映画の原作です。

都市生活に合わせてプログラミングされたロボットが、無人島で目を覚まします。大自然の中で暮らしていけるようには作られていないので、歩くことにも一苦労し、無人島で暮らす動物たちにも、こわがられてしまいます。

そこで、ロズは、動物たちの行動や言葉を観察し、自然の中での暮らし方や、動物たちとの上手な付き合い方を学んでいきます。無人島での生活にも慣れてきたある日、鳥のガンの卵から生まれたヒナに、「ママ」と呼ばれて、ヒナを育てることになりました。ロズが、一生けん命にヒナを育てている姿を見て、こわがっていた動物たちも、子育ての知識を教えたり、家を建ててくれたり、協力してくれるようになっていました。ロズは、ロボットにはないはずの優しさや、愛情を動物たちから学び、この島で暮らすことの幸せを感じていました。

ところが、そこへ、あやしい飛行船がやってきて…。

社会『これだけは知っておきたい! こども図鑑』

多摩六都科学館/監修 パイインターナショナル

なぜ?と気になる疑問が解決するかもしれません

この本は、みなさんが一度は疑問に思ったことがあるような、どうして季節が変わるの?や、宇宙や地球はどうやって生まれたの?、水はどこからくるの?、時間って何?、世界一高いタワーは?、植物と動物のちがいは何?、足が速い生き物はだれ?、世界にはどんなお祭りがあるの?などに答えてくれます。イラストや、写真、表などがたっぷりあって、分かりやすく説明されていますよ。

また、本の中に登場する言葉や文章に、日本語と共に英語も書かれていますので、英語を覚えられきっかけになるかもしれませんね。

小学生にうちに知っておいてほしい情報ばかりですので、ぜひ、読んで、知識を増やしてみてくださいね。

